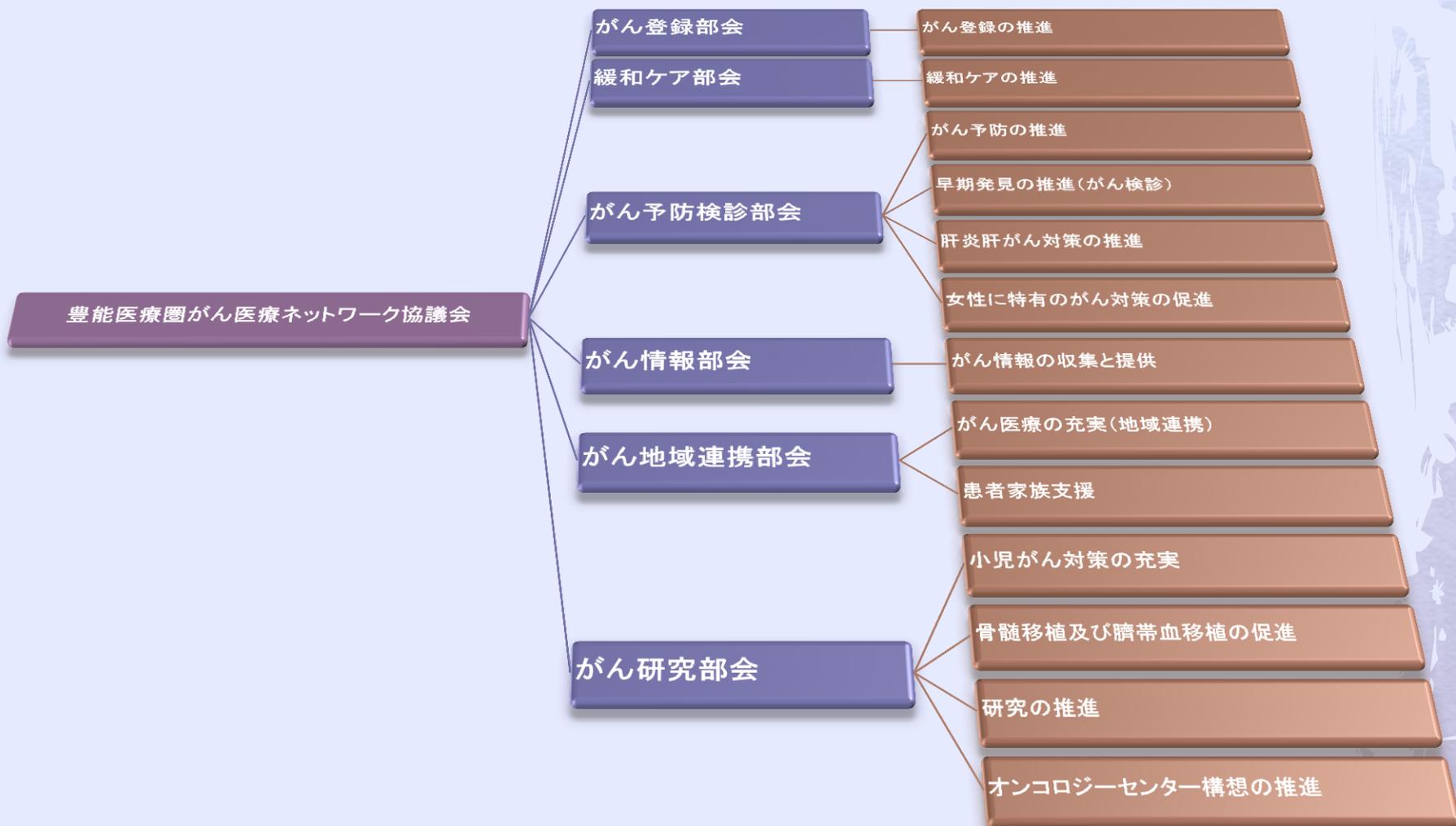


平成25年度第2回 豊能医療圏
がん医療ネットワーク協議会 活動報告

組織図



がん登録部会

- ◆ 【活動目標】
 - ◆ 登録精度を高めながら、全がん登録を行っていく。
- ◆ 【長期施策】
 - ◆ 全がん登録の実施
 - ◆ 2016年施行のがん登録法に向けてのがん登録内容の公表方法の検討
- ◆ 【中期施策】
 - ◆ 5大がん登録のマスター
 - ◆ がん登録について学習会を開催する
 - ◆ 登録データ公表方法の学習と統一化
- ◆ 【短期施策】
 - ◆ 勉強会施設見学を通して登録技術を高めるとともに、各施設の改善策を見出す。
 - ◆ 登録についての問題点疑問点を通して情報を共有し、データの公表方法の確認と統一化を図る。
 - ◆ データ公示についてのセキュリティについての知識の取得。

がん登録部会勉強会

- ◆ 開催日:2013年12月7日(土)13時30分
- ◆ 場所:市立豊中病院管理棟5F講堂
- ◆ 参加人数:29名
- ◆ 参加者職種:医師看護師事務員診療情報管理士
- ◆ 参加施設:大阪大学医学部附属病院箕面市民病院刀根山病院市立吹田病院済生会吹田病院済生会千里病院市立池田病院上田病院東豊中渡辺病院相原病院大阪府立成人病センター市立豊中病院(計12施設)
- ◆ 講師:大阪府立成人病センター企画調査課診療情報管理士松本吉史先生
- ◆ 学習会目的:
 - ◆ がん登録の事例を通して登録内容の実際を知る
 - ◆ がん登録を通して、情報交換や意見交換の出来る体制をつくる
 - ◆ 今後の全国がんの情報提供に向けての場を提供する
- ◆ 学習会内容:
 - ◆ 症例を通して院内がん登録を学ぶ(肺がん)
 - ◆ 2006年院内がん登録標準登録様式の説明、UICC第7版ポイント(肺のみ)
 - ◆ 提供症例についてのグループワーク(5~6人グループ)4グループ作成
 - ◆ グループワーク学習会参加者のうち約9名ががん登録経験なしであったため、各グループに未経験者とがん登録経験者を配してマンツーマンで事例の確認や標準登録の様式説明をおこなった。

緩和ケア部会

25年度の活動報告

◆ 会議

- ◆ 第1回緩和ケア部会：平成25年7月9日(火)千里阪急ホテル
- ◆ 第2回緩和ケア部会：平成25年10月31日(木)市立豊中病院

◆ 内容

- ◆ 緩和ケア部会リーダー一名で各病院長あて緩和ケア研修会参加への促進と配慮の依頼状を送付
- ◆ 各病院の緩和ケア研修会参加状況の把握と目標設定
- ◆ 地域連携(悪性新生物関連の退院支援)についての情報交換

緩和ケア部会

26年度活動に向けた課題と目標

- ◆ 緩和ケア研修会の受講促進
- ◆ 課題: 緩和ケア研修会 (PEACE研修会) への若い医師 (卒後1~5年目) の受講率が低調である。
- ◆ 目標: 協議会に参加する医療機関で医師の受講目標数を設定し、達成に向けた年度計画を作成する。また、対象医師が研修を受けられるように圏域内での開催情報を共有できる仕組みづくりを行う。
- ◆
- ◆ 早期からの緩和ケアの普及 (啓発活動)
- ◆ 課題: 早期からの緩和ケアの必要性を認識していても、実施方法やそのPRが具体的に分かっていない。
- ◆ 目標: 緩和ケアに関する市民公開講座を開催するなど地域住民への啓発を行うとともに、各病院が連携する在宅診療所や病院、施設などの情報をまとめ緩和ケアマップやリストを整備し、がん患者家族への情報提供を進める。

がん予防検診部会

◆ 部会の開催など

- ◆ 25年度第1回部会:25年7月9日(火)16:30~17:30千里阪急ホテル
- ◆ メールやFAXを用いた意見交換と26年度活動に向けた意見集約を実施

◆ 活動目標にかかる成果

- ◆ 各市町のがん検診情報を広く住民に周知することにより、がん早期発見の推進(がん検診)を図るため、各がん拠点病院のホームページ(HP)と所在地の各市町HPをリンクさせる取り組みを行った。
- ◆ 各がん拠点病院のバナー内から各市町の“がん検診”のHPにリンク設定
 - ◆ 豊中市:刀根山病院、市立豊中病院
 - ◆ 池田市:市立池田病院
 - ◆ 箕面市:箕面市立病院
 - ◆ 吹田市:阪大医学部附属病院、吹田市民病院、済生会吹田病院、済生会千里病院
 - ◆ 豊能町:市立豊中病院
 - ◆ 能勢町:地域性も考慮しながら対応

◆ 今後の課題

- ◆ 今回は、がん拠点病院の所在する市町との間でHPリンクしたが、がん拠点病院毎に豊能医療圏域内全ての市町とリンクすることの議論を要する
- ◆ がん検診PRに向けた「ネットワーク協議会」の統一したバナーづくりも考えてはいかかがか

がん予防検診部会

26年度活動に向けた課題と目標

◆ がん予防教育の推進

- ◆ 課題：学童期青年期からがん予防やがん医療の知識を高める必要がある。
- ◆ 小中高校生におけるがん予防の学習活動へのがん拠点病院の支援
- ◆ 目標：
- ◆ 学校関係者とのがん教育企画会議の設置や学習活動へのがん専門医などの講師派遣制度の導入を検討する。
- ◆ 広報誌やホームページ、ポスター等による啓発を積極的に実施(がん予防教育プログラム、指導要領や教材の開発、人材バンクの創設を検討)

◆ 早期発見の推進(がん検診)

- ◆ 課題1：
- ◆ 「がん」や「検診」への正しい知識普及の必要がある。また、ターゲットの絞込みや女性のがんへの取り組みも必要である。
- ◆ 目標1：
- ◆ がん拠点病院と市町が連携し、講演会の実施等知識普及や検診受診率の向上を図る。また、学校、PTA等との協力連携を視野にいれて議論を深める(がん予防教育とあわせた取り組み)。
- ◆ 課題2：
- ◆ 精密検査受診結果の市町担当課への報告と精度管理のあり方に課題がある。
- ◆ 目標2：
- ◆ がん精検などに関わる実情を実態調査し、精検結果や治療結果の報告ルールづくり及び精度管理などについて検討する。また、大腸がんなど要精検率の格差是正について議論を深める。

がん情報部会

平成25年度活動実績

◆ 【活動実績】

- ◆ 第1回がん情報部会開催：平成25年7月9日（火）千里阪急ホテル

◆ 【活動目標】

- ◆ ホームページ等を活用して各病院のがん拠点病院としての特長や診療等についての情報提供の充実を図っていく。
- ◆ 大阪府のがん情報提供コーナーを活用し、その情報について適時更新をおこなう。各自の病院が情報提供を行っているか確認し、がん情報提供コーナーへのリンクを貼って統一した情報を提供できるようにしていく。
- ◆ がん予防検診部会と情報提供について連携を図っていく。

◆ 【各病院活動状況】

- ◆ ホームページを整備し、大阪府がん拠点病院であることを明示した。
- ◆ 大阪府がん情報提供コーナーへのリンクを自院のホームページに掲載し、がん情報提供コーナーの自院情報を更新した。
- ◆ 自院のホームページへがん検診関連部局との連携のためのバナーを設置した。
- ◆ 自院のホームページへがん相談支援センターの案内の掲載を行った。
- ◆ 各診療科のがん診療情報の充実を今年度中に図っていく。
- ◆ 広報紙上にスペースを確保し、定期的に患者様を対象にがん検診や診療に関する記事を掲載する方向で検討している。

がん情報部会

平成26年度活動に向けた課題と目標

◆ 【活動目標】

- ◆ 患者にわかりやすく、正確な情報提供、充実に努める。
- ◆ がん情報提供コーナーの情報を継続的に更新していく。
- ◆ 各部会と連携のうえ、豊能ネットワーク協議会内で、統一可能な情報提供を行う。
- ◆ 各病院の提供する数値(手術件数等)の取り方の定義について明確にしていく。



◆ 【参考:各病院活動目標】

- ◆ 本情報部会を通じて、豊能医療圏の他院が当院へ期待している点についての情報を集め、広報紙に記載する内容を具体的に検討していく。
- ◆ 所属する自治体のがん検診のページへリンクを張って、受診率の向上を図る。

がん地域連携部会

平成25年度活動実績

◆ 【会議】

- ◆ 第1回がん地域連携部会開催：平成25年7月9日（火）千里阪急ホテル
- ◆ チームリーダー会議：平成25年12月25日（水）市立豊中病院健康教室会議室

◆ 【チーム活動】7つのチームごと

- ◆ 地域医療従事者研修会
 - ◆ がん関連の研修会情報は、府立成人病センターにおいて府内情報を取りまとめるうえ電子メールにて配信されるエクセルシートを活用する。
- ◆ がん検診技術支援
 - ◆ 各市町のがん検診窓口（保健所及び保健センター）へがん検診の状況と読影についての聞き取り調査を実施。
- ◆ クリティカルパス普及、支援
 - ◆ 現在各病院にて運用中のがんパスを調査し内容のとりまとめを行った。
- ◆ 患者への場の提供
 - ◆ 8月頃各病院の実績や状況についてのアンケートを実施し内容を取りまとめた。
- ◆ 相談支援連携協力体制
 - ◆ アンケート作成中
- ◆ がん患者リハビリテーション
 - ◆ 各病院のリハビリテーション部門にアンケートを実施し取りまとめた。その中で共通の課題が見えてきた。
- ◆ セカンドオピニオン
 - ◆ 各病院へセカンドオピニオンに関するアンケートを実施し概ね採りまとめが終了

がん地域連携部会

◆ 【課題と目標】

- ◆ 各病院におけるがん関連の研修セミナー等について、府立成人病センターへの情報提供を必ず行う。
- ◆ 府立成人病センターからの研修会情報についてホームページでの公開方法を検討する。
- ◆ 医療従事者セミナー等で検診にあたられる医師に読影のレクチャーをする機会をつくる。
- ◆ 消化管造影を複数の医師でダブルチェックする体制など他地域の検診の工夫について情報収集して共有する。
- ◆ 各病院によって運用に差はあるが、多くの病院が運用しているパスについては、地域の医療機関に一括で登録をお願いできないか検討していく。
- ◆ 豊能2次医療圏での「患者への場」の取り組みを情報収集、情報共有を行う。
- ◆ 各病院の患者本人家族等、個人のがん相談窓口の状況を調査する。
- ◆ 「がん相談窓口の設置」について、未設置の病院については設置に向けて、設置済みについてはより有効な運営に向けて検討する。
- ◆ 各施設からの理学療法士など選出し、問題点改善策について検討する。
- ◆ 公開方法、公開内容などを含めて、今後の検討課題とする。

がん研究部会

(1) 小児がん対策

- 小児がん診療に関わる医療機関ネットワークの構築

阪大病院は、市立豊中病院、大阪市二次医療圏のがん診療連携拠点病院等と連携し小児がん患者の診療に取り組んでいる。今後は、小児がん拠点病院である大阪市立総合医療センターと大阪府立母子保健総合医療センターと小児がんに関わる医師の教育等で連携していく予定である。

(2) 骨髄移植および臍帯血移植の推進

- 骨髄移植および臍帯血移植の現状

造血幹細胞移植の件数は年間平均27件程度である。移植の幹細胞ソースとしては兄弟間、骨髄バンク、臍帯血のすべてに対応している。特に骨髄バンクからの移植が多く半数以上を占めている。

(3) がん研究の推進

- 多施設臨床研究の推進(特定非営利活動法人SCCRE)

がん臨床研究を実施する7つの研究会(消化器がん、乳がん、肺がん、泌尿器系がん、骨髄腫等)を支援している。

(4) 高度先進医療の推進と人材育成

- 以下の先進医療を現在実施中である

腹腔鏡下子宮体がん根治手術(先進医療A)

ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術(先進医療B)

パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法(先進医療B)

4. 術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法(先進医療B)

- がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(大学院)

17コースで79名が在学中

(薬物療法、放射線治療、緩和医療、外科治療、放射線物理、細胞診、がん看護等)